阿蘇市3月定例会

市政を問う！

14議員が登壇（一般質問）

「観光振興」今後の取り組みは

森元秀一

森元 今後の着地型観光・循環型の街づくりの取り組みについて問う。

吉良商工観光課長 緊急雇用・ふる里雇用制度を活用して、旅館組合、観光協会が担当者を増やして、着地型観光商品を開発しています。星空を鑑賞するツアー、雲海ツアーを実施。自然環境、地域資源を生かすものですが、本年2365名、昨年より約900人プラス、食の部分でも、健康づくりの郷実行委員会で各方面と連携しながら、いろいろ取り組んでいきます。

世界文化遺産の取り組みについて

森元 中通古墳群を見渡せる小嵐山の整備は。

日田教育課長 今後、中通古墳群については、国の重要文化財指定ということで取り組んで行きたいと思います。小嵐山については、文化財の指定ではございませんので、教育委員会としては整備が難しい状況であります。関係課と協議したいと思います。

森元 内牧入口である、「コアラ」跡を今後どのようにするのか。

井野企画振興課長 平成20年3月に地元住民の意見を踏まえ策定した「内牧中心市街地まちなみ整備実施計画」では、一区から五区までの特徴的なまちなみを整備するとともに、中央公園一帯を地域の拠り所として整備することが盛り込まれていましたが、コアラの利活用につきましては、民有地であるということと、民間施設であるということで、その計画の中では特段位置づけられてない状況です。

他に、「新規就農総合支援事業・青年就農給付金の取り組みについて」、「安心安全防災対策について」、「レッドゾーンの周知徹底について」、「古恵川（松原橋付近）の定期的整備について」の質問がありました。

中通古墳群

旧ひのくに会館の温泉利用再生について

田中弘子

田中 この会館は、震災支援のために購入されたもので、未だ活用状況も見えておりません。温泉源は有るとのことなので、可能であれば解放できないかと思いますが、いかがですか。

城健康福祉課長 保健福祉センターの温泉では、阿蘇市内に住所を有する65歳以上の方、身体障がい者の方に対しては無料で開放しています。一般者につきましては1回300円、小学生以下については100円となっております。23年度2月までの数字ですが、5万2590人の利用がありました。旧ひのくに会館の温泉利用再生については、利用価値は十分にあると思いますが、現在保健福祉センターの充実を図っておりますので、整合性を見ながら課題とさせていただきます。

佐藤市長 あそ☆ビバと中央公園を中心にして、商店街と内牧温泉のこれからの活性化を含めた上で、デザインをきちんと考えて、施設を有効に活用していくことを常々思っております。今、耐震調査を行っている最中ですので、結果が出た時点でいろいろ取り組んで参りたいと思っております。

農業委員の女性登用について

田中 今後の見通しとして、別枠で参画が出来るのかお尋ねします。

井農業委員会事務局長 現在、県下で1038名の委員のうち女性が84名、その中で公選が12名、残り72名が行政、組織からの推薦となっています。今後は、女性委員進出の理解が得られるよう、市議会や組織団体へ働きかけを進めていきます。

旧ひのくに会館

他に、「保育園民営化引継について」の質問がありました。

阿蘇駅前周辺整備に関連して

髙宮今朝秀

髙宮 国際環境観光都市を目指す阿蘇市の玄関口の一つ阿蘇駅への送迎は、駅舎出入り口の前にバス停とタクシー乗り場があるため側につけられず駐車場での乗降となる。降雨時や老人、体の不自由な人々の使い勝手の検証は。

井野企画振興課長 整備前、自家用車、バス、タクシーの乗り入れで、ラッシュ時危険であり、整然とした交通体系を確保するため、公共機関の利便性を優先させて県のユニバーサルデザインに添った整備をしました。ゼブラゾーンやタクシー乗降場が空いていれば一時的な乗降は認めるようにしています。

髙宮 今後の駅前整備にあたり、乗降場の確保を検討してもらいたい。

企画振興課長 予算を含め出来る範囲内で検討します。

阿蘇の自然・資源保護を

髙宮 「水工場進出」について本会議でも話題になったが、熊本地下水保全条例と阿蘇市環境基本条例、阿蘇市環境保全及び開発に関する条例との連動性、関係、解釈の説明を。

橋本市民環境課長 県地下水保全条例一部改正は地下水を採取する行為を届け出制から許可制としたもので、これらの上位法との整合性を図り、届出・許可等について今後検討を要します。

髙宮 数社・団体による大観の森や美土里ネットの森造り植樹、年間数回行われる道路沿いのチリ拾いは延べ人員数千人のボランティア活動で地下水涵養、自然環境保全に努められています。ある地域では水を護るため申し合わせによりボーリングを禁止している集落もあるそうです。予定地の近くに2つの上水道水源があります。阿蘇市としてよくご賢察の上、地域資源（水）を護る対策をお願いしたい。

佐藤市長 下水道事業、合併浄化槽の推進、農地水環境保全事業、涵養林植樹等で護っている阿蘇の財産（水）について、私共は行政として総合力で取り組んでいきます。